



えん En ふぁ～む



～あおば相談・連携支援のおたより～

令和6年 3月 第11号

3月。暖かい日も寒い日もあり、なんだか年度末のそわそわした気持ちに伴走しているような季節ですね。「En ふぁ～む」は、連携支援グループから、紙面・マチコミメール・学校ホームページで不定期に発信しているお便りです。第11号が、今年度は最後の発行です。

先日、保護者、教職員の学校評価アンケートで「**◎本校におけるセンター的機能を推進することができたか**」の結果、センター的機能について、意識いただけている学部や学年と、そうではない学部や学年で評価のばらつきがあることが分かりました。

センター的機能は、学校全体(学校、教員など)が担い、特別支援の視点をいかし、地域を積極的に支援していく機能です。今後、あおば支援学校が、どのようにセンター的機能を発揮しているかを、もっと知っていただくために、情報発信にも取り組んでいきたいところです。

そこで、令和5年度最終号は、センター的機能を発揮した一部として、1年間、相談係が対応した相談の報告と、ご挨拶をさせていただきます。

令和5年度の相談係に入った相談の報告(2月末集計)

○令和5年度 **校内相談**… 1378件

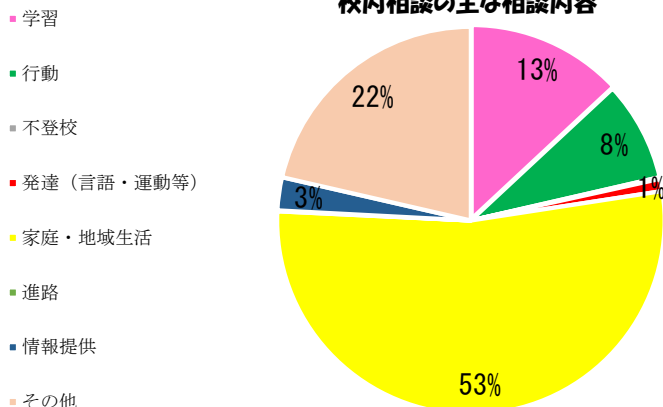
校内の教員・本人・保護者からの相談を、あおば支援学校の教育相談コーディネーター、専門職、連携支援グループリーダーが受けた件数です。

今年度、最も多かった校内の相談は、「**家庭・地域生活**」についての相談です。担任だけでなく、地域の関係機関を巻き込んで一緒に検討が必要なとき、教育相談コーディネーターが中心となって外部機関とのやり取りやケース会議を行いました。担任には、お子さんの学校生活をご相談することが多かったと思いますが、地域生活や、ご家庭での過ごしについての困りを保護者から相談係にご相談いただくことも増えました。校内の相談窓口が、教員だけでなく、保護者の皆様にも知っていただけるようになったと感じます。進路については、担任と移行支援担当が中心に相談を受けていましたが、相談係も情報共有しながら支援を行ってきました。

また、あおば支援学校には、児童生徒が担任以外と相談したいときに活用できる「**本人相談**」があります。「**ぱんだポスト**」に手紙をくれた児童生徒との相談も行ってきました。

校内には、本人も保護者も相談できる窓口を作っています。引き続き、気軽にご活用ください。

校内相談の主な相談内容



令和5年度の相談係に入った相談の報告(2月末集計)

○令和5年度 **校外**相談…214件

○令和5年度 **小・中・高等学校**からの相談…100件

地域の小学校・中学校・高等学校の教員や保護者からの相談を、あおば支援学校の教育相談コーディネーター、専門職、連携支援グループリーダーが受けた件数です。

地域からの相談では、「電話相談」や、あおば支援学校に来て相談を聞く「来校相談」、学校からの依頼を受けて教育相談コーディネーターが、実際に地域の学校を訪問して、お子さんの見立てを行い、一緒に支援策を考える「巡回相談」があります。

今年度も地域から気軽にお声がけいただけるようになり、たくさんのお子さんとの出会い、たくさんの先生方や支援者と一緒に考えてきました。日頃の、あおば支援学校の取り組みが、地域を支援する材料になっています。地域の支援力が豊かになると、あおば支援学校の児童生徒がもっと、地域で過ごしやすくなると思います。今後も、地域との繋がりを大切にセンター的機能を発揮して、支援していけたらと思います。



相談例

- ・落ち着かない子どもへの対応。
- ・教室に入れにくい子への支援の仕方。
- ・性器いじりがとまらない子への対応。
- ・どのような個別課題が子どもにあっていく分分からない。
- ・身体介助の方法、車いすの操作方法の相談。
- ・クラスの教室環境をどのように整えたらよいか。
- ・保護者と学校が、共通理解のもと支援していくためには。
- ・子どもが使える福祉サービスについて知りたい。
- ・障害理解、障害特性に関する研修会の講師をしてほしい。

など



**1年間、ありがとうございました！
来年度もよろしくお祈いします😊**

【連携支援グループ 相談係、移行支援担当】

学校生活や家庭生活で困ったことや、心配なことがあるときは、担任または、相談担当にご相談ください。

ご本人、保護者、学校の先生、校内、校外、どなたでもお気軽にご相談ください。

☎ 045-978-1161 (学校) ☎045-978-1169 (連携支援直通)